

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	02	農業総務費	事業 1	053	0 1 0 5 0 1 0 2
事業 2	010	農政事務費	事業 3	001	農政事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 農業者及び関係団体と連携し、秦野市都市農業振興計画（以下「都市農業振興計画」）等に基づき、農業・農地のもたらす様々な恵みを生かしたまちづくりを進める。
- ・内容 農政に関する庶務的事項への対応のほか、都市農業振興計画推進委員会の実施、関係団体への負担金等の支出を行う。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 都市農業振興計画の進行管理等により、各施策等の適切な実施を図る。
- ・目標値 都市農業振興計画において各種目標値を設定している。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 農業振興地域の整備に関する法律
- ・計画 都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 1,186千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 5,651千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 3,644千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 都市農業振興計画の管理・評価のため、都市農業振興計画推進委員会を開催した。
優良農産物等登録認証制度について協議するため、地産地消部会を開催した。
秦野市農業委員会の任期満了による委員改選のため、秦野市農業委員会委員選考委員会を開催した。
- ・令和7年度 都市農業振興計画の管理・評価及び次期計画の策定のため、都市農業振興計画推進委員会を開催した。
優良農産物等登録認証制度の在り方について協議するため、地産地消部会を開催した。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

都市農業振興計画に掲げる各施策の進捗状況は概ね計画どおり進んでいる。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	02	農業総務費	事業 1	053	0 1 0 5 0 1 0 2
事業 2	010	農政事務費	事業 3	001	農政事務費

都市農業振興計画の進捗状況の管理・評価のため、都市農業振興計画推進委員会を開催する。
新たな優良農産物等登録認証制度を用いた環境にやさしい農業の振興を図るため、地産地消推進部会を開催する。
見直し時期を迎える秦野農業振興地域整備計画を策定する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

秦野農業振興地域整備計画の基礎調査が完了したことによる委託費の減
都市農業振興計画推進委員会の開催回数減による報酬及び旅費の減

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

秦野農業振興地域整備計画の基礎調査：令和7年度予算 3,920千円
都市農業振興計画推進委員会：令和7年度（予定） 4回、令和6年度 1回、令和5年度 1回

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

都市農業振興計画等に掲げる施策の取組状況を管理するため、各種会議を開催していく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 17 日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	010	農業経営基盤強化促進事業費	事業 3	001	農業経営基盤強化促進事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGs の該当目標

- ・目的 本市農業を牽引する認定農業者等の農業経営基盤の強化と経営改善計画の達成に向けた支援を行う。
- ・内容 農業経営基盤強化に関することや秦野農業振興地域整備計画について協議するため、附属機関である農政推進委員会を開催する。
中核的農業者の農業経営基盤の強化を促進するため、認定農業者協議会が実施する基盤強化促進事業（農業機械等導入支援）に対し、支援を行う。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに
8 働きがいも経済成長も
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 持続可能な都市農業の実現につながる。
- ・目標値 認定農業者の経営改善計画の達成率 80%（都市農業振興計画）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 農業経営基盤強化促進法、農業振興地域の整備に関する法律
- ・計画 総合計画（基本施策321 持続可能な都市農業の推進）、秦野市都市農業振興計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 10,151千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 4,224千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 3,574千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容 [D]

- ・令和6年度 農政推進委員会の開催、地域計画に係る協議の場の開催、認定農業者育成事業補助金の交付
- ・令和7年度 農政推進委員会の開催、認定農業者育成事業補助金の交付

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等） [C]

認定農業者への農業機械等導入支援により、現行の都市農業振興計画の計画期間においては、概ね目標値を達成している。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	010	農業経営基盤強化促進事業費	事業 3	001	農業経営基盤強化促進事業費

- ・農政推進委員会の開催
- ・認定農業者育成事業補助金の交付（農業機械等の導入への支援）

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- 増減理由
認定農業者育成事業補助金の活用希望者が減少したことによる減
- 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
認定農業者育成事業補助金 令和7年度予算 3,268千円（8件）、令和6年度決算 1,836千円（5件）、
令和5年度決算 1,952千円（7件）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

秦野市都市農業振興計画及び秦野農業振興地域整備計画に基づき、地域や農業者の実情に合わせた施策を実施していく。

8 その他

- 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- 自然災害対策への取組
該当なし
- 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 17 日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	020	都市農業活性化推進事業費	事業 3	001	都市農業活性化推進事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 はだの都市農業支援センターの運営による農業支援機能の一本化（ワンフロア化）を図る。地区の営農状況に応じた農業活性化を図る。
- ・内容 はだの都市農業支援センターの運営及び「農」のまちづくりを推進する団体に対し、支援を行う。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
15 陸の豊かさも守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 農業支援機能の一本化による農業を取り巻く諸問題への迅速な対応が可能となる。市民参画の促進により、多様な農地保全・地域営農活動が活発化し、「市民の力」による課題解決に向けた取組が推進される。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策321 持続可能な都市農業の推進）、秦野市都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 4,058千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 4,494千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 4,679千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 はだの都市農業支援センターの運営及び「農」のまちづくり事業補助金の交付
- ・令和7年度 はだの都市農業支援センターの運営及び「農」のまちづくり事業補助金の交付

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・多様化する農業者のニーズに応えるため、支援センターを構成している各機関の担当業務の一層の明確化と専門的な相談機能の拡充が必要
- ・「農」のまちづくり事業について、地域の中心的人材の育成・確保が必要

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	020	都市農業活性化推進事業費	事業 3	001	都市農業活性化推進事業費

- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕
はだの都市農業支援センターの運営、「農」のまちづくり事業補助金の交付、地区営農推進協議会の開催
- 6 要求額の増減理由・根拠〔A〕
- (1) 増減理由
- ・会計年度任用職員の職歴加算等による報酬等の増
 - ・車両の更新によるリース料の増加に伴うはだの都市農業支援センター負担金の増
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和8年度予算 4,679千円、令和7年度予算 4,494千円 令和6年度決算 4,058千円、令和5年度決算 2,047千円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕
- ・各機関の業務内容を精査するとともに、農業者のニーズに十分な対応ができる体制づくりに努めていく。
 - ・地区営農推進協議を通して、地域でリーダー的な指導ができる農業者の発掘に努めていく。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	030	「農」の担い手育成支援事業費	事業 3	001	「農」の担い手育成支援事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 農業従事者の高齢化や後継者不足により農の担い手の減少が加速する中で、新たな担い手の確保・育成を図る。
- ・内容 農業の多様な担い手の確保に向け、市民の農業参画を促進する研修事業を実施するとともに、新規就農者や担い手の育成指導、市民交流活動等を実施する先進農業者団体、若手の農業者団体に対して助成し、農業生産を担う者の確保・育成を図る。
- ・SDGs
 - 2 飢餓をゼロに
 - 3 すべての人に健康と福祉を
 - 8 働きがいも経済成長も
 - 15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 将来を担う新たな担い手の確保が図られる。
- ・目標値 新規就農者数の累計：令和7年度までに114人（秦野市都市農業振興計画）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策321 持続可能な都市農業の推進）、秦野市都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
 - ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：9,180千円
 - ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：17,520千円
 - ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：25,781千円
 - ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 「はだの市民農業塾」を実施することにより、農業の多様な担い手の確保・育成を図るとともに、就農後は、県の普及指導担当や秦野市農業協同組合と連携し、巡回指導などを通じて営農支援を行った。
また、新規就農者に対して、経営の安定及び営農環境整備に対する支援を実施した。
- ・令和7年度 令和6年度の実施内容を継続して実施した。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

新規就農者数の令和7年度末の目標値114人に対し、「はだの市民農業塾」や国の制度を活用した経営開始当初の経済的な支

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	030	「農」の担い手育成支援事業費	事業 3	001	「農」の担い手育成支援事業費

援を実施することにより、令和6年度末においては、100人となっており、概ね計画どおりに進んでいる。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

「はだの市民農業塾」や国の制度を活用した新規就農者への支援を、引き続き実施し、就農しやすい環境を整備するとともに、就農後の営農環境を向上を図るため、関係機関との連携し、技術面を含めたサポートができるよう、体制を充実させていく。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・新規就農者育成資金等の交付対象者数が増加したことによる増
- ・農業後継者確保対策事業補助金の交付対象が海外研修となったことによる増

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・新規就農者育成資金等交付対象者数 令和7年度予算 9件、令和6年度決算 5件、令和5年度決算 7件
- ・農業後継者確保対策事業補助金交付対象者数 令和7年度予算 1件、令和6年度決算 0件、令和5年度決算 0件

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

農業者人口が減少する中で、新たな担い手の確保・育成及び定着に対する支援は継続的に実施していく必要がある。また、新たな担い手については、就農後の営農状況の把握及び技術的な支援を通じて、経営の安定化を促す必要がある。

そのため、引き続き、就農への足掛かりとなる研修事業を実施するとともに、新規就農者や育成指導を行う農業者団体及び農業後継者への支援を実施していく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	040	里地保全再生事業費	事業 3	001	荒廃遊休農地等農地活用対策事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 農地の荒廃・遊休化の防止を図る。
- ・内容 荒廃・遊休地の解消整備に対し、農地整備費の一部を助成する。
- ・SDGs 8 働きがいも経済成長も
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 荒廃農地を解消し、農地利用の促進を図ることができる。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策321 持続可能な都市農業の推進）、秦野市都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 492千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 502千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 501千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 耕作放棄地を解消後に、担い手農家等への集積
- ・令和7年度 農地現況調査の結果を活用した総合的な解消対策の検討

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

後継者不足や農業従事者の高齢化等により耕作放棄地が増加し、営農環境の悪化及び効率的な農地利用が阻害される状況にあり、荒廃農地の解消・流動化を継続的に行う必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・耕作放棄地を解消後に、担い手農家等へ集積
- ・農地現況調査の結果を活用した総合的な解消対策の検討

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	040	里地保全再生事業費	事業 3	001	荒廃遊休農地等農地活用対策事業費

- (1) 増減理由
消耗品費の削減による減
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和7年度予算 502千円、令和6年度決算 492千円、令和5年度決算 1,796千円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
・耕作放棄地を解消後に、担い手農家等への集積
・農地現況調査の結果を活用した総合的な解消対策の検討
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月18日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 18 日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	040	里地保全再生事業費	事業 3	002	多面的機能支払事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGs の該当目標

- ・目的 農業・農村が有する多面的機能(国土保全や水源かん養、景観形成等)の維持を図る。
- ・内容 国庫補助事業を活用し、市から認定を受けた事業計画に基づき、農業者等が共同で取組む農地維持活動、地域資源(農地、水路、農道等)を適切に保全管理するための共同活動及び農業用施設の長寿命化のための活動に対し、支援する。
〔第4期間は令和4年度から令和8年度(第1期間:平成19年度から平成23年度、第2期間:平成24年度から平成28年度、第3期間:平成29年度から令和3年度)〕
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに
13 気候変動に具体的な対策を
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 地域資源(農地、水路、農道等)の適切な保全管理
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律
- ・計画 秦野市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画、秦野市都市農業振興計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費(進捗率) : 1,933千円
- ・令和7年度予算 事業費(進捗率) : 2,011千円
- ・令和8年度予算 事業費(進捗率) : 1,961千円
- ・令和9年度以降 事業費(進捗率) : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容 [D]

- ・令和6年度 農地維持活動、地域資源を適切に管理するための共同活動、農業用施設の長寿命化のための活動
- ・令和7年度 農地維持活動、地域資源を適切に管理するための共同活動、農業用施設の長寿命化のための活動

4 事業の自己評価(効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

担い手の高齢化や耕作放棄地の増加等により集落営農及び景観保全が停滞している。

5 令和8年度の実施計画(課題解決への実施計画等) [A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月18日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	040	里地保全再生事業費	事業 3	002	多面的機能支払事業費

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地維持活動、地域資源の質的向上を図る活動及び施設の長寿命化のための活動に係る支援を行う。

活動組織は「鶴巻の田園環境を育む会」で、平成19年度より多面的機能支払事業補助金を活用しており、令和4年度に再認定を行ったため、令和8年度まで活動予定。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

消耗品費の減

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和7年度予算 100千円、令和6年度決算 23千円、令和5年度決算 11千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

補助金交付団体である「鶴巻の田園環境を育む会」では、非農家を含めた地域住民が一体となって農地や農道等を整備するとともに、農業・農村が有する多面的機能の保全・維持管理を自主的に自立して実施している。今後も良好な環境の保全活動を継続していくため、国・県補助金を有効に活用し、事業を継続して実施していく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 18 日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	050	鳥獣対策事業費	事業 3	001	鳥獣保護管理対策事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 鳥獣による生活被害・農林業被害を防ぐとともに、特定外来生物による生態系に対する被害の軽減及び生物多様性の確保を図る。
- ・内容 ニホンジカ・イノシシの大型獣やハクビシン・アライグマ等の中型獣、カラス等の鳥類などによる農林業被害対策として、銃器やわなによる捕獲、各種防護柵の設置支援による防除及び獣の潜み場を無くするための環境整備を地域ぐるみで実施し、農林業被害及び生活被害の軽減を図る。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 鳥獣からの農作物被害を防ぐことにより、営農意欲の増進と農業生産の安定が図られる。
- ・目標値 農作物年間被害面積（「秦野市鳥獣被害防止計画」（令和6年度～令和8年度）による）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律
鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律
- ・計画 総合計画（基本施策321 持続可能な都市農業の推進）、秦野市鳥獣被害防止計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 16,007千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 13,170千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 13,419千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 銃器駆除に対する補助、地域防護柵の設置補助、広域獣害防護柵の定期点検・補修、ドローンを活用した重点対策事業の実施、ニホンジカ等の管理捕獲、ニホンザルの管理捕獲・追い払い・監視強化
- ・令和7年度 銃器駆除に対する補助、地域防護柵の設置補助、広域獣害防護柵の定期点検・補修、ドローンを活用した重点対策事業の実施、ニホンジカ等の管理捕獲、ニホンザルの管理捕獲・追い払い・監視強化

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・猟友会の高齢化や会員数の減少による捕獲圧の減少及び荒廃農地の増加により、鳥獣被害が高止まりしている。
- ・県及び近隣市町との連携の他、猟友会並びに農業者と秦野市農業協同組合が一体となることで効果的な対策が可能となる

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 18 日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	050	鳥獣対策事業費	事業 3	001	鳥獣保護管理対策事業費

ため、緊密な連携を維持する。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

秦野市鳥獣被害防止計画の改訂作業、防護柵の設置及び更新に対する補助、銃器駆除の補助、広域獣害防護柵の定期点検及び補修、ドローンを活用した重点対策事業の実施、ニホンジカ等の管理捕獲、ニホンザルの管理捕獲・追い払い・監視強化、大型有害鳥獣の処分経費の補助

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

有害鳥獣対策事業補助金（捕獲報奨金）の新設による補助金の増

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし（令和8年度に新設）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

- ・銃器駆除に対する秦野市農業協同組合への支援
- ・秦野市鳥獣被害対策実施隊が実施する銃器捕獲による捕獲圧の継続
- ・ニホンジカ等の管理捕獲の実施
- ・広域獣害防護柵の定期点検及び全体補修委託業務による獣の侵入防止機能の維持
- ・地域及び個人防護柵の設置補助による防除支援
- ・ニホンザル対策の継続実施による、被害の未然防止及び新たな群れの侵入を防止する予防的対策の実施
- ・ドローンの活用による地域ぐるみの鳥獣被害対策（出没抑制のためのやぶ払いや果樹の伐採等の環境整備）の実施（過去の実施地域の隣接地等を選定し面的に実施）
- ・農業者が捕獲した大型有害鳥獣の処理等に要する経費の補助

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 81千円（81千円）
- ・ 内 容 G I S 地図データにドローン等による現地調査で得た情報を反映した被害対策地図を作成し、地域住民との鳥獣被害対策勉強会で使用することで、地域の実情に合った被害対策を検討するとともに、市民の鳥獣被害対策に対する意識等を底上げし、獣害に強いまちづくりを推進する。

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月18日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月18日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	050	鳥獣対策事業費	事業 3	002	ヤマビル被害防止対策事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 農林業者や登山者、ハイカー等のヤマビル吸血被害の防止及び生息密度の低減を図る。
- ・内容 地域住民等が主体となったヤマビル生息域の草刈、落葉かき等の環境整備を進める。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 農林業者、登山者及びハイカー等のヤマビル吸血被害の防止及び生息密度の低減を図る。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策321 持続可能な都市農業の推進）、秦野市都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 1,500千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 1,584千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 1,830千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 環境整備活動支援の実施
- ・令和7年度 環境整備活動支援の実施

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・「画期的な駆除方法がない」という状況の中、農業者等市民の協力を得て、環境整備活動を継続し、生息地域や生息密度の抑制に努めていく必要がある。
- ・観光事業への影響もあるため、鳥獣の対策と合わせた積極的な対策を講じる必要がある。
- ・年々広域的に出没が確認されているため、広域的な環境整備をする必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

22団体による年2回の環境整備活動を実施

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月18日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	050	鳥獣対策事業費	事業3	002	ヤマビル被害防止対策事業費

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

(1) 増減理由

環境整備活動に必要な薬剤の購入に伴う消耗品の増
環境整備活動の実施団体の増による補助金の増

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

消耗品費 令和7年度予算 0円 令和6年度決算 0円 令和5年度決算 0円
補助金 令和7年度予算 21団体 1,472千円 令和6年度決算 21団体 1,416千円 令和5年度決算 17団体 1,233千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕

ヤマビルの生息域の追跡調査や被害拡大要因の分析及び環境負荷の少ない忌避剤や駆除薬剤に関する情報の収集等と並行して、引き続き、地域主体による草刈りなどの環境整備活動を支援することで、ヤマビルの生息域・被害の拡大を防止する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	060	農業振興資金等利子補給金	事業 3	001	農業振興資金等利子補給金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 利子負担を軽減することで経営の合理化及び近代化を図り、農業経営の安定化を促進する。
- ・内容 各種農業資金の利子負担を軽減するため補給金を交付する。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに

(2) 効果・目標値

- ・効果 利子負担の軽減により、農業機械の導入による合理化や農業施設の近代化が図られる。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 秦野市都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 154千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 256千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 1,743千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 認定農業者等をはじめとする農業者が長期かつ低利の資金の融資を活用することにより、経営の合理化が図られるため、各種農業資金の利子負担を軽減するため補給金を交付した。
- ・令和7年度 令和6年度の取組を継続して実施した。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

農業資金は、当初融資額又は融資後の経過年数によって補給額が少額になり、農業者の利点は小さくなるが、認定農業者が活用するスーパーL資金は、施設整備も対象となり、利子負担も大きくなることから、農業者の負担の軽減につながっている。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

引き続き、秦野市農業協同組合等の関係機関の協力を得て、農業者への事業の周知を図り、経営の安定化につなげる。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	060	農業振興資金等利子補給金	事業 3	001	農業振興資金等利子補給金

- (1) 増減理由
- ・スーパーL資金利子補給の新規申請者が新規で4名発生したことによる増
 - ・新型コロナウイルス関連融資資金利子補給の新規申請者が1名発生したことによる増
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
- 件数・金額 令和7年度予算 104件・256千円、令和6年度決算 68件・154千円、令和5年度決算 72件・157千円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
- 認定農業者等の中核的農業者のほか、兼業農家や定年帰農者等の営農により農業の維持及び農地保全等が図られており、広く農業者に長期かつ低利の資金の融資を活用することにより、経営の合理化が図られるため、継続して支援する。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
- 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
- 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
- 該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 17 日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	070	農産物品評会事業交付金	事業 3	001	農産物品評会事業交付金

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGs の該当目標

- ・目的 優良農産物の紹介や、農業者の生産意欲の向上、市民の農業理解の促進に繋げ、農業振興に寄与する。
- ・内容 農産物の栽培技術の向上と優良品種の普及拡大を図るため、秦野市農産物品評会実行委員会が実施する農産物品評会を支援する。
優良農産物の紹介や、農業者の生産意欲の向上、市民の農業理解の促進に繋げ、農業振興に寄与する。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに
8 働きがいも経済成長も
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 農業者の生産意欲の向上、市民の農業理解の促進
- ・目標値 出品点数 400 点（令和 8 年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 秦野市都市農業振興計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和 6 年度決算 事業費（進捗率） : 500 千円
- ・令和 7 年度予算 事業費（進捗率） : 500 千円
- ・令和 8 年度予算 事業費（進捗率） : 500 千円
- ・令和 9 年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和 6 年度・令和 7 年度の取組内容 [D]

- ・令和 6 年度 第 60 回秦野市農産物品評会を実施（優秀賞 20 点、優良賞 30 点、佳良賞 30 点）
- ・令和 7 年度 第 61 回秦野市農産物品評会を実施（優秀賞 20 点、優良賞 30 点、佳良賞 30 点）

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等） [C]

出品点数が減少傾向にあるため、事業の周知強化に取り組む必要がある。

5 令和 8 年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

引き続き、農産物品評会を実施するとともに、収穫時期を捉えた効率的な周知を図る。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	070	農産物品評会事業交付金	事業 3	001	農産物品評会事業交付金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
該当なし
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

農産物の栽培技術向上と優良品種の普及及び消費の拡大を目指し、市民の農業に対する理解を一層深めるとともに、「安全」で「安心」な地元の優良農産物を紹介することや日頃の成果を披露する場として、農家の生産意欲向上に繋がるため、継続して実施することが必要である。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	080	田原ふるさと公園管理運営費	事業 3	001	田原ふるさと公園管理運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 都市住民と地域住民との交流を促進し、地域農業の活性化を図るとともに、市民の憩いの場を提供する。
- ・内容 地域農業の拠点施設である田原ふるさと公園を適切に管理する。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに
8 働きがいも経済成長も
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 公園施設の活用により、地域住民等の交流の促進及び地域の活性化が図られる。
- ・目標値 施設の稼働日数 年間310日以上

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策322 地産地消及び交流型農業の推進）、秦野市都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 13,657千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 10,976千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 17,567千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 公園の管理及び施設の運営方法について運営団体と協議
- ・令和7年度 公園の管理及び施設の運営方法について方針決定

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

施設で行う地場農産物等の販売やそば事業により、地元農業振興に寄与している。また、休館日を含め、地域住民の交流の場として活用されており、地域の拠点施設としての役割を果たしている。
建築後20年以上が経過しているため、老朽化した施設、設備の改修を進める必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

施設を適切に管理するとともに、集客の増加や交流創出に向け、運営団体との協議を進め、魅力向上に向けた取組を推進していく。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	080	田原ふるさと公園管理運営費	事業3	001	田原ふるさと公園管理運営費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

施設の老朽化や建築基準法12条点検におけるのり正箇所への対応による工事請負費の増
水質検査項目（PFAS）の増加による役務費の増
最低賃金の引上げによる施設管理経費の増加や水車点検の実施による委託料の増

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

工事請負費 令和7年度予算 754千円、令和6年度決算 4,153千円、令和5年度決算 7,506千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

田原ふるさと公園は、東地区の地域交流の場として役割を果たしており、また、表丹沢魅力づくり構想において地域の活動拠点に位置付けられていることから、継続して適切に管理していく。
また、運営団体と協議し、魅力向上に向けた取組を推進していく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	090	経営所得安定対策事業補助金	事業 3	001	経営所得安定対策事業補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

- (1) 目的・内容・SDGsの該当目標
 - ・目的 農業者の経営の安定を図る。
 - ・内容 農業経営の安定化を図るため、国の経営所得安定対策等実施要綱に基づく畑作物及び水田活用等の直接支払交付金に係る申請受付事務等を行う。
 - ・SDGs 2 飢餓をゼロに
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 農業者の経営の安定が図られる。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 経営所得安定対策等実施要綱
- ・計画 秦野市都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 175千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 224千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 239千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 畑作物及び水田活用等の直接支払交付金の申請受付事務等を実施
- ・令和7年度 畑作物及び水田活用等の直接支払交付金の申請受付事務等を実施

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

国交付金の申請に係る農業者の負担を軽減するとともに、交付金により、農業者の経営の安定に寄与した。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

畑作物及び水田活用等の直接支払交付金の申請受付事務等を実施する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	090	経営所得安定対策事業補助金	事業 3	001	経営所得安定対策事業補助金

最低賃金の引上げによる補助金の増

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和7年度予算 224千円、令和6年度決算 175千円、令和5年度決算 150千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

経営所得安定対策等推進事業に基づく交付金は、国から直接農家に交付されるものであることから、制度について対象者に広く周知し、活用を推進していく。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 17 日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	100	観光農業推進事業費	事業 3	001	観光農業推進事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGs の該当目標

- ・目的 観光農業及び食育の推進並びに地域の活性化
- ・内容 本市の立地特性を生かした農業振興を図るため、観光農園開設に係る経費を支援することで、開設を目指す
農業者等の参入を促し、市内観光農園の充実に取り組む。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに
4 質の高い教育をみんなに
12 つくる責任つかう責任

(2) 効果・目標値

- ・効果 市内観光農園の充実にによる観光農業及び食育の推進と地域の活性化
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策322 地産地消及び交流型農業の推進）、秦野市都市農業振興計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 40千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 212千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 212千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容 [D]

- ・令和6年度 丹沢秦野農園ハイク、東地区農園ハイクの実施を支援した。
観光農園開設者へ経費の一部を支援した。
- ・令和7年度 上地区農園ハイク、東地区農園ハイク、丹沢秦野農園ハイクの実施を支援した。
観光農園開設者へ経費の一部を支援した。
観光農園用大型バス停留場所を確保し、利便性を高めた。
イチゴやブルーベリーなどの観光農園で提供する摘み取り体験自体をふるさと納税の返礼品とするため、マッチング等の支援を図った。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

- ・農園ハイクについては、継続的な実施によって、来客数を増やしていく必要がある。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 17 日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	0 1 0 5 0 1 0 3
事業 2	100	観光農業推進事業費	事業 3	001	観光農業推進事業費

・体験型観光農園の推進を図るため、ブルーベリー狩り、イチゴ狩り、サツマイモや落花生掘り取りなど観光農園の P R 及び観光農園の開設希望者を支援していく必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

・観光農園開設スタートアップ支援補助金を拡充し、既存観光農園への支援を充実させる。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

該当なし

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

各地区での農園ハイクの実施及び観光農園開設に向けた支援を行うことで本市の観光農業を推進する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業 1	055	0 1 0 5 0 1 0 4
事業 2	010	地産地消支援事業費	事業 3	001	地産地消推進事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・ 目 的 消費者からの地場産農産物における信頼確保及び地場農産物の消費拡大、市内で捕獲されたニホンジカやイノシシを活用した「秦野ジビエ」の普及促進を図るため、市内外にSNS等を活用して情報発信をするとともに、一般社団法人日本ジビエ振興協会を通じて、全国の先例事例を取り入れながら「秦野ジビエ」のブランド化を推進する。
- ・ 内 容 地産地消を推進する団体への補助、はだの産農産物応援サポーター店を活用した地産地消の実施、地産地消月間の実施による地場産農産物の消費拡大、ジビエ利用普及促進事業、秦野優良農産物等登録認証制度の運営による優良農産物等の拡大
- ・ SDGs 2 飢餓をゼロに
4 質の高い教育をみんなに
12 つくる責任つかう責任
15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・ 効 果 安全・安心な農産物の安定供給を図るとともに、秦野産農産物を使用した農家レストランをPRすることで、地産地消の推進が図られる。また、市民へジビエ料理の体験機会を提供することで、ジビエ利用の普及促進を図ることができる。
- ・ 目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・ 根拠法令 該当なし
- ・ 計 画 総合計画（基本施策322 地産地消及び交流型農業の推進）、秦野市都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・ 全体計画 事業費 :
- ・ 令和6年度決算 事業費（進捗率）: 1,360千円（農産物ブランド化推進事業費287千円を含む。）
- ・ 令和7年度予算 事業費（進捗率）: 2,574千円（農産物ブランド化推進事業費281千円を含む。）
- ・ 令和8年度予算 事業費（進捗率）: 3,067千円（農産物ブランド化推進事業費281千円を含む。）
- ・ 令和9年度以降 事業費（進捗率）: 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・ 令和6年度 サポーター店の活用や「秦野ジビエ」ののぼり旗やステッカーを刷新し、地産地消を推進した。地産地消推進部会の運営及び認証農産物の更新審査を実施した。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業1	055	01050104
事業2	010	地産地消支援事業費	事業3	001	地産地消推進事業費

- ・令和7年度 サポーター店によるアイデア料理コンテスト入賞レシピを商品化した。
OMOTANHPを用い、サポーター店をPRした。
「秦野ジビエ」ののぼり旗やステッカーの活用に加え、秦野市農業協同組合と協力したジビエ商品（シカ肉ハンバーグ等）の開発やふるさと納税の返礼品としてのマッチング等、地産地消を推進した。
地産地消推進部会を実施し、認証制度の在り方の協議及び認証農産物の更新審査を実施した。

- 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）〔C〕
 - ・はだの産農産物応援サポーター店（飲食店）の地場農産物の利用促進と利用状況の周知が求められる。
 - ・環境にやさしい農業の取り組みが求められる。
- 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕
 - ・はだの産農産物応援サポーター店の活用や地産地消PRイベント等の実施による地産地消の推進
 - ・アイデア料理コンテストと、入賞レシピを商品化したサポーター店のPRを図るため、サポーター店にて入賞レシピを含む飲食を行った利用者にOMOTANポイントを還元するキャンペーンを実施
 - ・ジビエ利用普及促進事業の実施
 - ・認証制度の在り方の協議及び認証農産物の審査

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

(1) 増減理由

- ・捕獲鳥獣のジビエ処理施設への移送業務を実施隊へ移行するに当たり、秦野市農業協同組合主体の協議会の原資である国交付金が満額交付されなかった際に備え、移送業務相当分として新たに支援する補助金の増
- ・ジビエ処理施設搬入数の増加による委託料の増
- ・残留農薬検査に係る検体消耗品費及び委託料の増
- ・農産物ブランド化推進事業費の統合による委託費の増

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ア 地産地消推進事業費
令和8年度予算 2,786千円、令和7年度予算 2,293千円、令和6年度決算 1,073千円、令和5年度決算 1,228千円
- イ 農産物ブランド化推進事業費
令和8年度予算 281千円、令和7年度予算 281千円、令和6年度決算 287千円、令和5年度決算 349千円
- ウ 合計（地産地消推進事業費に統合）
令和8年度予算 3,067千円、令和7年度予算 2,574千円、令和6年度決算 1,360千円、令和5年度決算 1,577千円

- 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕
 - ・はだの産農産物応援サポーター店の活用や地産地消PRイベント等の実施による地産地消の推進
 - ・「秦野ジビエ」の普及促進
 - ・秦野市認定農家レストランの整備推進

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業 1	055	0 1 0 5 0 1 0 4
事業 2	010	地産地消支援事業費	事業 3	001	地産地消推進事業費

・環境にやさしい農法で生産された、秦野優良農産物等の認証拡大

8 その他
該当なし

令和 8年 2月18日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月18日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業 1	055	0 1 0 5 0 1 0 4
事業 2	020	秦野落花生生産支援事業費	事業 3	001	秦野落花生生産支援事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 本市を代表する特産農産物である落花生の生産拡大、栽培技術及び品質の向上を促進する。
- ・内容 秦野市農業協同組合への出荷者（生産者）、新規就農者（はだの市民農業塾）及び落花生生産者組織（秦野市農業協同組合出荷者除く）に対し、生産資材等に係る費用を補助する。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 落花生の生産拡大、栽培技術及び品質の向上が図られる。
- ・目標値 落花生の作付面積1,950a（令和7年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策322 地産地消及び交流型農業の推進）、秦野市都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 5,308千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 6,352千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 6,000千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 落花生の補助金制度周知のため、秦野市農業協同組合の広報紙等を利用し、補助金制度の周知を図った。
- ・令和7年度 落花生の補助金制度周知のため、秦野市農業協同組合の広報紙等を利用し、補助金制度の周知を図った。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

落花生の収益性が他の作物と比べ低いことから、今後も作付面積の維持・拡大を図るためには生産資材等への補助が必要である。さらに、今後は労働力の確保又は省力化の効果的な方法について検討を進める必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

令和4年度から補助対象者を作付面積が5a以上としたが、作付面積が減少傾向であることから、作付面積の下限を撤廃し、補助対象者の拡大に努めるとともに、令和8年に就農予定のはだの市民農業塾塾生に作付けを促し作付面積の維持を図る。援農ボランティア制度の活用を促していくとともに、落花生に特化したボランティアの育成を図ることで、労働力の確保に努

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月18日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業1	055	01050104
事業2	020	秦野落花生生産支援事業費	事業3	001	秦野落花生生産支援事業費

める。

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

(1) 増減理由

予算の積算方法を見直したことによる減

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和7年度予算 6,352千円、令和6年度決算 5,308千円、令和5年度決算 6,611千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕

- ・令和4年度から補助対象者を作付面積が5a以上としてきたが、作付面積が減少傾向であることから、作付面積の下限を撤廃する。
- ・新規就農予定のはだの市民農業塾塾生に補助事業を案内して作付面積の維持を図る。
- ・援農ボランティア制度の活用等労働力の確保を図る。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 17 日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業 1	055	0 1 0 5 0 1 0 4
事業 2	030	畜産活性化支援事業費	事業 3	001	畜産活性化支援事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 後継家畜の育成や家畜伝染病の発生を予防するとともに、育成環境に恵まれた牧場で乳用子牛を育成することで、畜産経営の安定化を図る。
また、畜産共進会が実施する事業に対して支援し、畜産物の消費宣伝による畜産振興を図る。
- ・内容 優良家畜の育成や家畜伝染病の発生予防、乳用子牛の育成、畜産共進会事業に対し補助を実施する。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに
12 つくる責任つかう責任

(2) 効果・目標値

- ・効果 畜産経営の安定化及び畜産物に係る食の安全安心の確保、本市畜産業に対する理解増進
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 秦野市都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 3,720千円（乳用子牛育成預託事業補助金2,250千円、畜産まつり（畜産共進会）事業交付金170千円を含む。）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 3,850千円（乳用子牛育成預託事業補助金2,250千円、畜産まつり（畜産共進会）事業交付金300千円を含む。）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 3,750千円（乳用子牛育成預託事業補助金2,250千円、畜産まつり（畜産共進会）事業交付金200千円を含む。）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 優良家畜の育成や家畜伝染病の発生予防、乳用子牛の育成、畜産共進会事業にかかる費用の一部を補助
- ・令和7年度 優良家畜の育成や家畜伝染病の発生予防、乳用子牛の育成、畜産共進会事業にかかる費用の一部を補助

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

優良素畜の導入や家畜伝染病の発生予防、乳用子牛の育成には多額の費用を要することから、事業費に対する補助率は低い。申請団体及び秦野市農業協同組合からの強い要望がある。また、CSF（豚熱）に関するワクチン予防接種推奨地域の該当になっており、終息時期が予測できないため、現状を維持する。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業 1	055	0 1 0 5 0 1 0 4
事業 2	030	畜産活性化支援事業費	事業 3	001	畜産活性化支援事業費

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・優良血統家畜の導入や受精卵購入による優良家畜の育成及びワクチン接種費用の一部を補助
- ・預託事業の費用の一部を補助
- ・減少傾向にある畜産農家の状況を踏まえて、畜産イベントの内容を検討・実施

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

畜産まつり（畜産共進会）事業交付金の見直しによる減

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

ア 乳用子牛育成預託事業補助金

令和8年度予算 2,250千円、令和7年度予算 2,250千円、令和6年度決算 2,250千円、令和5年度決算 2,250千円

イ 畜産まつり（畜産共進会）事業交付金

令和8年度予算 200千円、令和7年度予算 300千円、令和6年度決算 170千円、令和5年度決算 96千円

ウ 畜産活性化推進事業費

令和8年度予算 1,300千円、令和7年度予算 1,300千円、令和6年度決算 1,300千円、令和5年度決算 1,300千円

エ 合計（畜産活性化推進事業費に統合）

令和8年度予算 3,750千円、令和7年度予算 3,850千円、令和6年度決算 3,720千円、令和5年度決算 3,646千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

畜産価格の低迷及び飼料の高騰により畜産経営が悪化する中、経営の安定化を図るため、引き続き補助を行う。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業 1	055	0 1 0 5 0 1 0 4
事業 2	040	畜産環境衛生対策事業費	事業 3	001	畜産環境衛生対策事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 畜産農家が実施する臭気対策及び畜舎等の衛生対策への取組を支援し、良好な経営環境を確保する。
- ・内容 都市化の進展や法改正による家畜伝染病予防への対策強化など、畜産経営を取り巻く環境が厳しくなる中、本市の重要産業である畜産業の振興を図るため、畜産農家が実施する臭気対策及び衛生対策に対し、支援する。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに

(2) 効果・目標値

- ・効果 周辺生活環境の保全と畜産経営環境の維持が図られる。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 秦野市都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : 事業費 (進捗率) : 687千円
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 978千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 926千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) :

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 畜産経営の維持のため、畜産農家が実施する臭気対策等への取組に対し、一部を補助した。また、家畜伝染病の発生の予防をするため、畜産農家が実施する衛生対策への取組の一部を補助した。
- ・令和7年度 畜産経営の維持のため、畜産農家が実施する臭気対策等への取組に対し、一部を補助した。また、家畜伝染病の発生の予防をするため、畜産農家が実施する衛生対策への取組の一部を補助した。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

衛生対策については、都市近郊型の畜産業を営む農家にとって、ハエ対策を実施すること及び伝染病の発生を未然に防ぐことが課題であり、これを支援していく必要がある。

臭気については、臭いを完全に解消することは困難であるが、畜産農家の臭気対策を促進するとともに、定量的かつ客観的に臭気の状態を確認するため、臭気測定を継続する必要がある。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業 1	055	0 1 0 5 0 1 0 4
事業 2	040	畜産環境衛生対策事業費	事業 3	001	畜産環境衛生対策事業費

- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕
畜産農家の取組内容を踏まえた衛生及び臭気対策の支援を実施する。
臭気測定を継続して実施する。
- 6 要求額の増減理由・根拠〔A〕
- (1) 増減理由
臭気測定に係る設計単価の変動による委託料の減
臭気用簡易測定器の修繕箇所の変更による修繕料の減
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
臭気測定 令和7年度予算 231,000円（38,500円×6回）
令和6年度決算 170,940円（28,490円×6回）
令和5年度決算 85,800円（14,300円×6回）
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕
衛生対策については、市内における疫病による患畜を抑制するため、畜産農家の減少による事業費の縮小との整合性を図りながら事業を実施していく。
臭気対策への支援及び臭気測定については、畜産農家の取組状況及び臭気の状態を踏まえて実施していく。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業 1	056	0 1 0 5 0 1 0 5
事業 2	010	用水路補修事業費	事業 3	001	用水路補修事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

- (1) 目的・内容・SDGsの該当目標
- ・目的 利水及び排水条件の維持とその施設等の維持管理負担の軽減を図る。
 - ・内容 補助対象とならない用排水路の小規模な整備や維持補修を実施する。
 - ・SDGs 2 飢餓をゼロに
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 安定した生産力の向上
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 秦野市都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 5,362千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 5,370千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 8,034千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度 of 取組内容[D]

- ・令和6年度 用排水路補修工事 L=43m
- ・令和7年度 用排水路補修工事 L=70m

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

具体的な全体計画、年間の事業量、工事の優先順位を明確にして、計画的に事業推進する必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・東田原前原用水路補修工事 L=55m
- ・西田原堀ノ内用水路補修工事 L=30m
- ・三廻部芭蕉用水路補修工事 L=20m

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業 1	056	0 1 0 5 0 1 0 5
事業 2	010	用水路補修事業費	事業 3	001	用水路補修事業費

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

(1) 増減理由

用水路の老朽化が著しく、用水路補修の要望が多く寄せられていることによる工事請負費及び機械借上げ料の増

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

要望件数：令和8年度 3件、令和7年度 1件、令和6年度 1件、令和5年度 1件

機械借上げ件数：令和8年度 5件、令和7年度 3件、令和6年度 3件、令和5年度 3件

7 今後の取組方針（事業の必要性・方向性・改善方法）〔A〕

工事の優先順位を明確にし、長期的な全体計画を作成する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業 1	056	0 1 0 5 0 1 0 5
事業 2	020	農道補修事業費	事業 3	001	農道補修事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 施設等の維持管理負担の軽減とともに、農道整備によって積極的な機械化と生産力の向上を図る。
- ・内容 補助対象とならない農道の小規模な整備や維持補修を実施する。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 農道整備によって積極的な農業の機械化と生産力の向上を図る。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 秦野市都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 17,657千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 6,518千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 7,152千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 農道補修工事 L=75m
- ・令和7年度 農道補修工事 L=70m

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

具体的な全体計画、年間の事業量、工事の優先順位を明確にして、計画的に事業を推進する必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・西田原吹上農道補修工事 L=20m
- ・名古屋延沢農道補修工事 L=25m
- ・柳川堀ノ内農道補修工事 L=15m

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業 1	056	0 1 0 5 0 1 0 5
事業 2	020	農道補修事業費	事業 3	001	農道補修事業費

- (1) 増減理由
長寿命化計画に基づく、5年に1度の橋梁点検（2橋）を実施することによる委託料の増
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和7年度予算 300千円、令和6年度決算 247千円（災害復旧対応を除く。）、令和5年度決算 297千円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
工事の優先順位を明確にし、長期的な全体計画を作成する。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業 1	056	0 1 0 5 0 1 0 5
事業 2	030	農とみどりの整備事業費	事業 3	001	農とみどりの整備事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 農業労働負担の軽減による合理的営農を目指す。
- ・内容 幅員が狭小な農道の拡幅改良等、小規模な農道等の整備を実施する。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 積極的な農業の機械化とともにその生産力の向上を図ることで、緑豊かな潤いのある農業環境の創出につながる。
- ・目標値 農とみどり整備事業の計画により、農道整備延長L=40mに設定

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 神奈川県市町村事業推進交付金交付要綱
- ・計画 総合計画（基本施策321 持続可能な都市農業の推進）、秦野市都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 24,483千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 26,656千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 27,029千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 農道整備 L=110m
- ・令和7年度 農道整備 L=30m

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

農業経営の合理化を図り、積極的な農地利用と荒廃農地の解消につなげる必要から、生産基盤として不可欠な農道整備等を実施するため、各地域における要望等を精査し、その必要性並びに緊急性を考察するとともに、実施事業対象については、県の補助事業を活用する。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・菩提地区農道測量委託 L=320m W=4.7m

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業1	056	01050105
事業2	030	農とみどりの整備事業費	事業3	001	農とみどりの整備事業費

- ・下大槻地区農道測量委託 L=90m W=4.5m
- ・柳川地区農道整備工事 L=40m

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

新規路線の下大槻地区農道の測量委託を実施することによる委託料の増
柳川地区農道において、事業内容の変更による工事請負費の減
柳川地区農道において、補償を実施しないことによる補償費の減

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

委託料：令和7年度予算 5,346千円、令和6年度決算 484千円、令和5年度決算 実施なし
工事請負費：令和7年度予算 20,400千円、令和6年度決算 23,999千円、令和5年度決算 23,362千円
補償費：令和7年度予算 700千円、令和6年度決算 実施なし、令和5年度決算 292千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

工事の優先順位を明確にし、長期的な全体計画を作成する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 17 日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業 1	056	0 1 0 5 0 1 0 5
事業 2	040	鶴巻排水機場維持管理費	事業 3	001	鶴巻排水機場維持管理費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 鶴巻排水機場跡地を維持管理するとともに、社会教育の場や地域の活動拠点等として活用する。
- ・内容 鶴巻排水機場跡地の維持管理
- ・SDGs 12 つくる責任使う責任

(2) 効果・目標値

- ・効果 鶴巻排水機場跡地を適正に維持管理することにより、社会教育の場や地域の活動拠点等として活用が図られる。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 18,018千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 28,200千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 768千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度 of 取組内容[D]

- ・令和6年度 鶴巻排水機場建屋改修工事の実施
- ・令和7年度 鶴巻排水機場の広場整備の実施

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

地域の拠点形成や活性化を図ることを目的に作成された「秦野市鶴巻排水機場利活用方針」に基づき、跡地整備後の運営や維持管理を適正に行う必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

鶴巻排水機場の遺構を後世に伝える社会教育の場及び地域の活動拠点並びに休憩所として一般開放するとともに、地元自治会と協働して維持管理する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業 1	056	0 1 0 5 0 1 0 5
事業 2	040	鶴巻排水機場維持管理費	事業 3	001	鶴巻排水機場維持管理費

- (1) 増減理由
「秦野市鶴巻排水機場利活用方針」に基づく跡地整備完了に伴う工事請負費の減
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和7年度予算 28,022千円、令和6年度決算 17,821千円、令和5年度決算 18,016千円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
地元自治会と協働して鶴巻排水機場を管理するとともに、市民に対して遺構を伝えていく。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業 1	056	0 1 0 5 0 1 0 5
事業 2	050	農地事務費	事業 3	001	農地事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 農業者及び関係団体と連携し、農地及び農業用施設の整備促進を図る。
- ・内容 農地や農業用施設に係る庶務的事項への対応のほか、関係団体への負担金の支出を行う。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 関係団体との連携による技術的な指導及びその他援助のほか、各種研修や情報共有の機会が確保される。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 3,672千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 4,046千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 4,577千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度 of 取組内容[D]

- ・令和6年度 団体連合会本部及び支部負担金、会計年度任用職員の任用、積算システム賃貸借等
- ・令和7年度 令和6年度の取組を継続して実施した。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

現在、土地改良に関する相談が複数あることから、団体との連携の重要性が高まっている。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

団体連合会本部及び支部負担金、会計年度任用職員の任用、積算システム賃貸借等

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業 1	056	0 1 0 5 0 1 0 5
事業 2	050	農地事務費	事業 3	001	農地事務費

会計年度任用職員の職歴加算等による報酬等の増

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和7年度予算 3,226千円、令和6年度決算 2,856千円、令和5年度決算 2,239千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

土地改良事業団体連合会には、専門的技術の向上と効率的な事業の推進を図るうえで、必要な情報提供など、欠かせない役割があることから、団体連合会が企画する事業活動には積極的に参加し、その実益を実践的に反映させていく。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし